

619. 相對微分幾何ニツイテノ小話

松村 宗治 (台北大)

(I) 相對微分幾何學ニ於テ卵形線ニ内接スル正三角形ノ頂点ヲ $\varphi_1, \varphi_2, \varphi_3$ トセバ

$$(1) \quad \rho_1 \rho_2 (\varphi_1 - \varphi_2)^2 = \rho_2 \rho_3 (\varphi_2 - \varphi_3)^2 = \rho_3 \rho_1 (\varphi_3 - \varphi_1)^2$$

即チ

$$(2) \quad \frac{(\varphi_1 - \varphi_2)^2}{\rho_3} = \frac{(\varphi_2 - \varphi_3)^2}{\rho_1} = \frac{(\varphi_3 - \varphi_1)^2}{\rho_2}$$

ガ成立ツ、記号ニツイテハ日本數學物理學會記事 vol. 17,

NO. 12ニ於ケル平川氏論文ニ於ケルモノヨリ。

(2) ハ相對空間ニ於ケル正三角形ノ條件デアリ。

然ルニ原点ヲ適當ニトリテ

$$(3) \quad \rho_1 = \rho_2 = \rho_3$$

ナラシメ得ルヲ以テ (2) ハ

$$(4) \quad (\varphi_1 - \varphi_2)^2 = (\varphi_2 - \varphi_3)^2 = (\varphi_3 - \varphi_1)^2$$

トナシ得、ツマリ原点ヲ適當ニトルトハ \mathcal{K} = 外接スル三角

形ノ内心=原点ヲトルコトナアル。(4)ハ普通ノ意味ノ φ 内ノ内接正三角形ナアル。

以上ノコトカラ次ノコトがイヘル。

相對内接正三角形が同時=普通ノ正三角形デアリ得ベシ。

(II) 以上ノコトバヲ二等辺三角形ノ場合=モイヘル。

次=三辺が等比級数ヲナス三角形=テハ

$$(5) \quad g_1 g_2 (\varphi_1 - \varphi_2)^2 : g_2 g_3 (\varphi_2 - \varphi_3)^2 : g_3 g_1 (\varphi_3 - \varphi_1)^2$$

デアル。

(III) 此場合=モ適當=原点ヲエラビテ(5)ヲ

$$(6) \quad (\varphi_1 - \varphi_2)^2 : (\varphi_2 - \varphi_3)^2 : (\varphi_3 - \varphi_1)^2$$

トナシテ以テ此場合=モ上ノ定理が成立ツ。

(IV) 三角形ノ重心=ツイテモ相對空間=於ケルモノト普通ノユークリッド空間=於ケルモノト相一致スル場合が存在スル。

(V) 相對的距離ヲ d トセバ

$$d = \sqrt{g_1 g_2 (\varphi_1 - \varphi_2)^2}$$

デアル。今 g_1, g_2 ノ比例中項ヲ g_{12} トセバ

$$g_1 g_2 = g_{12}^2$$

デアル。故=

$$(7) \quad d = \sqrt{g_{12}^2 (\varphi_1 - \varphi_2)^2} \\ = \pm g_{12} (\varphi_1 - \varphi_2)$$

デアル。ソレ故=正内接三角形ノ條件ハ

$$(8) \quad g_{12}^2 (\varphi_1 - \varphi_2)^2 = g_{23}^2 (\varphi_2 - \varphi_3)^2 = g_{31}^2 (\varphi_3 - \varphi_1)^2$$

デアール。

(2) ト (8) トヨリ

$$(9) \begin{cases} g_{12}^2 = \rho / g_3, \\ g_{23}^2 = \rho / g_1, \\ g_{31}^2 = \rho / g_2. \end{cases}$$

が成立ツ、 $\rho = \rho$ の比例定数デアール。

ツマリ内接正三角形ノ場合ニハ (9) が成立ツ。

コトハ

$$g_{ik} = g_{ki}$$

デアール。

(VI) (7) ケラ g_1 ト g_2 トが相接近セバ

$$dS = g ds$$

ナルコトがスグナル。

(VII) (I) = 於テ述べタコトが三角形ノ重心ニツイテハ如何。